

Customer Register Assist

for iOS

目次

はじめに.....	1
Customer Register Assist 機能について.....	1
Customer Register Assist の動作 OS.....	1
ログイン情報を取得する.....	2
メニュー画面.....	4
名刺をアプリに登録する.....	6
アプリに登録した名刺を確認して編集する.....	11
名刺を SALES FORCE ASSISTANT に登録する.....	14
読み取りした名刺を削除する.....	15
メニュー画面から削除する.....	15
名刺確認画面から削除する.....	15
巻末付録.....	16
クライアント証明書を利用する.....	16



はじめに

Customer Register Assist 機能について

Customer Register Assistは、スマートフォンのカメラを使って名刺を読み込み、Sales Force Assistantへ登録する機能です。

NI製品にログインせず、3ステップで名刺情報の読み取りからSales Force Assistantへの登録が完了するため、営業先でいただいた名刺の登録時間を短縮できます。営業先への訪問や資料作成に忙しい営業マンをサポートする便利な機能です。



補足

「Customer Register Assist」アプリのダウンロードについて

App Store から無料でダウンロードすることができます。

Customer Register Assist の動作 OS

対象となる動作 OS は以下のとおりです。

動作 OS

iOS 9 以降

サポート言語

日本語、英語

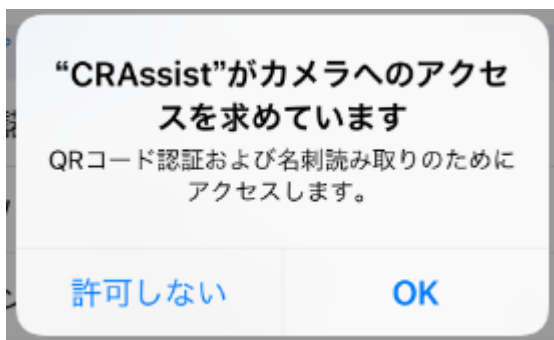
ログイン情報を取得する

アプリを利用するため、ログイン情報を取得します。



- ・ アプリを利用するためには、「Sales Force Assistant」のログイン情報をアプリに登録する必要があります。
ご利用になる前に、アプリをダウンロードしてください。
- ・ 顧客創造日報 JAPAN エディションは対応していません。

1. ブラウザ版の「Sales Force Assistant」にログインします。
2. 左メニューから **オプション設定** を選択し、「アシスタント機能」タブをクリックします。
オプションメニューから「スマートフォン版設定」を選択します。
「スマートフォン版設定」画面が表示されます。
3. 利用設定を「利用する」にチェックして、**保存** をクリックして内容を保存してください。
4. 同じ画面から、**QRコード作成** をクリックします。
QRコードが下方に表示されます。
5. アプリを起動します。
6. カメラへのアクセス確認が表示されますので、**OK** をタップします。



7. 通知の表示方法確認が表示されますので、**OK** をタップします。



8. QRコード認証をタップし、QRコード認証画面を表示します。

スマートフォン版設定のQRコードにカメラを向け、QRコードを読み取ります。

9. QRコード読み取り確認が表示されますので、**OK**をタップします。



- ・ SSL 認証による接続について（接続 URL の http 部分が https）
第三者認証機関以外の自己証明書を利用して「Sales Force Assistant」をご利用の場合、Customer Register Assist は、ご利用になることができません。
https→http に変更後、**QRコード作成**（または**QRコードを生成する**）をクリックして下さい。
- ・ 「NI コラボ Now!」「顧客創造日報 オフライン版」アプリをご利用の場合
アプリごとにログイン情報を取得していますので、「NI コラボ Now!」「顧客創造日報 オフライン版」をご利用の場合においても、ログイン情報を取得してください。
- ・ クライアント証明書を使った通信が必要な場合は、巻末の“クライアント証明書を利用する”を参照ください。

メニュー画面

アプリを起動すると、操作メニューが表示されます。各メニューについて説明します。

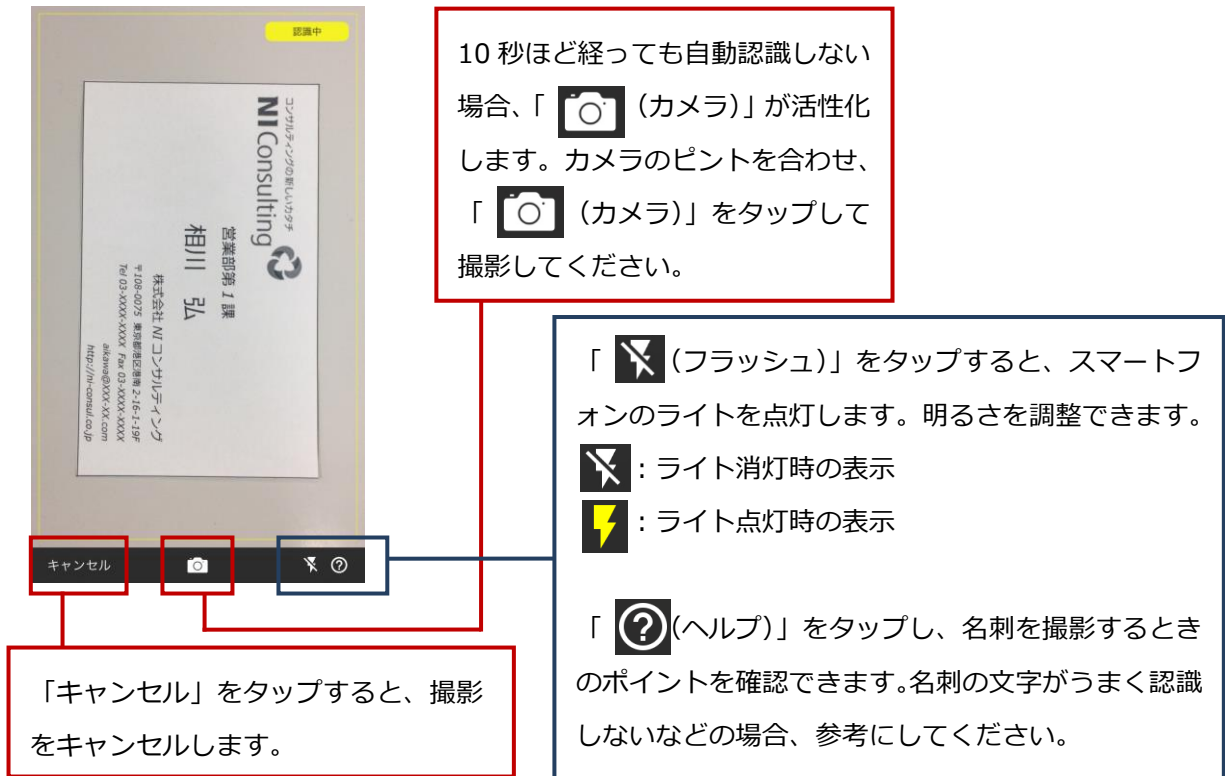
Customer Register Assist	
1	処理済みのデータがありますのでご確認ください。 もし間違っているところがあったら、訂正してくださいね。 
2	名刺読み取り  顧客登録 カメラで名刺を撮影し、その内容を読み取ります。
3	確認待ちの情報  株式会社NIコンサルティング 相川 弘 2017年10月18日 9:19
4	処理中の情報  情報収集中 2017年10月18日 9:17
5	Sales Force Assistant ブラウザで開く
6	このアプリについて はじめに > マニュアル > 使用許諾 > プライバシーポリシー > オープンソースライセンス > Version : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
7	認証・設定  QRコード認証 相川 弘 >


	メニュー名	説明
1	—	アシスタントからのメッセージとログインユーザーが設定しているアシスタント画像が表示されます。 アシスタント設定にて着せ替えした後に、QR コードを再取得するとアシスタント画像が更新されます。
2 名刺読み取り	顧客登録	名刺をカメラで撮影し、名刺情報を登録します。
3 確認待ちの情報	—	解析が終わった名刺が一覧表示されます。
4 処理中の情報	名刺解析中	解析中の名刺が一覧表示されます。
5 Sales Force Assistant	ブラウザで開く	Sales Force Assistant をブラウザで開きます。
6 このアプリについて	はじめに	アプリの基本的な操作について確認できます。
	マニュアル	操作マニュアルを開き、アプリの操作について確認できます。
	使用許諾	使用許諾について確認できます。
	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーについて確認できます。
	オープンライセンス	オープンライセンスについて確認できます。
	Version	アプリのバージョン情報が表示されます。
7 認証・設定	QR コード認証	QR コード取得画面を開きます。 ログイン登録がされている場合は、ログインユーザー名が表示されます。 クライアント証明書がインストールされている場合は、使用中の証明書が表示されます。

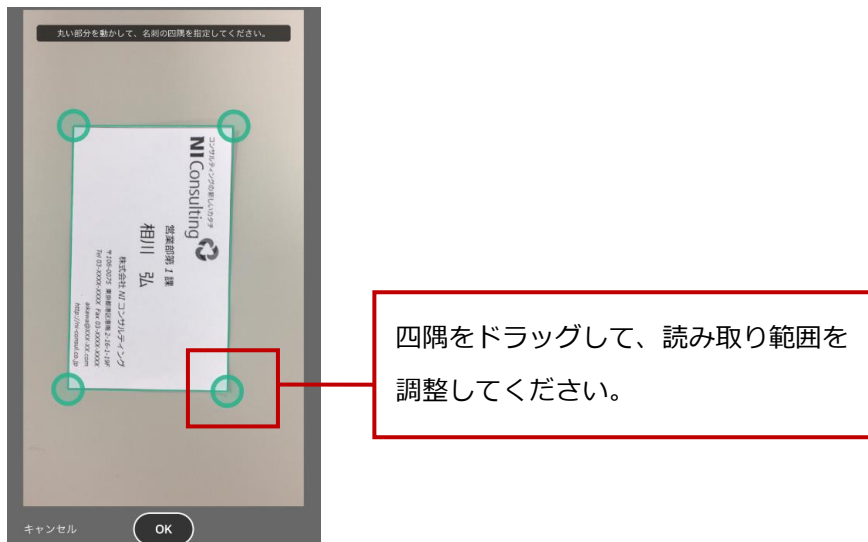
名刺をアプリに登録する

名刺をスマートフォンのカメラ機能で撮影します。撮影した名刺をアプリに登録する方法を説明します。

1. 顧客登録をタップします。
2. 名刺をガイドラインにあわせ、数秒待つと画面に「認識中」がされ、自動認識で撮影されます。
名刺撮影後、撮影画像の確認画面が表示されます。



3. ※  をタップして撮影した場合、表示されます。
名刺の読み取り範囲を指定します。
調整したら、「OK」をタップします。



4. 名刺の向きを調整します。

調整したら、 **OK** をタップします。



撮影した画像を回転します。

名刺を再度撮影したい場合は、画面上部の「<名刺の写真を撮影」または「撮り直し」をタップしてください。

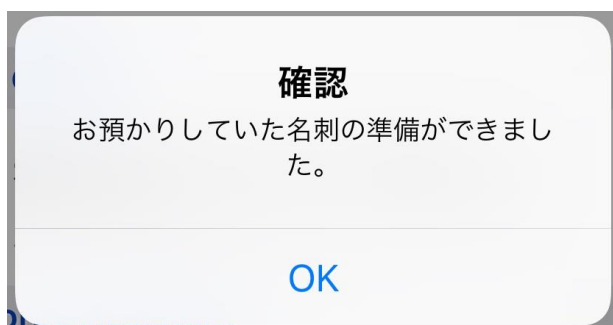
複数の名刺を連続撮影したい場合は、「連続撮影」をタップしてください。

5. メニュー画面が開き、処理中の情報に撮影した名刺が表示されます。

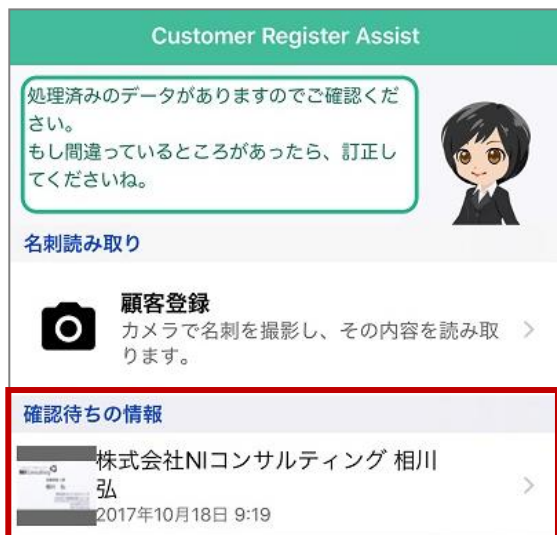


6. ※名刺の解析には1分ほどかかります。

解析が終わると、解析完了の確認が表示されますので、 **OK** をタップします。



7. 解析が終わった名刺が確認待ちの情報に表示されます。



名刺を撮影するときのポイントについて

スマートフォンで名刺を撮影する際のポイントについて説明します。

- 名刺の画像が切れる、名刺が自動認識されない場合

名刺と背景が同色で名刺を撮影すると、自動認識しないことや名刺画像が切れることがあります。名刺の下は濃い色の机を利用するなど、名刺と背景の境界がわかるようにしてください。

【イメージ】



⇒境界がわかりやすい

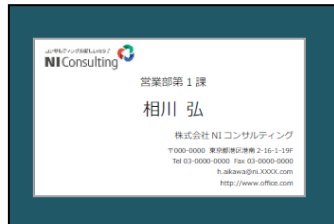


⇒境界がわかりにくい

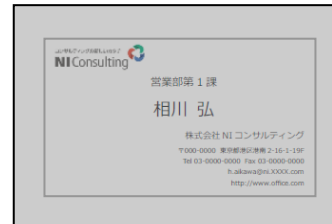
- 名刺の文字がうまく認識されない場合

画像のピントが合っていないかったり、撮影場所が明るすぎたり暗すぎたりすると名刺の文字を認識しないことがあります。また、名刺の材質によっては文字に光が反射することなどでか光ったり、名刺と端末を近づけすぎると端末の影が入って読み取りづらくなります。撮影時はピントを合わせ、名刺と端末の距離を調整しながら適度な明るさの場所で撮影してください。

【イメージ】



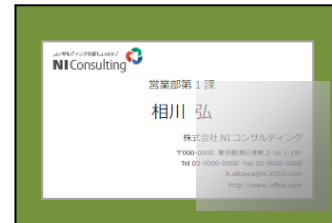
⇒適度に明るい、
ピントが合っている



⇒照明が暗い、
ピントが合っていない



⇒名刺の一部がてかてか
か光っている。

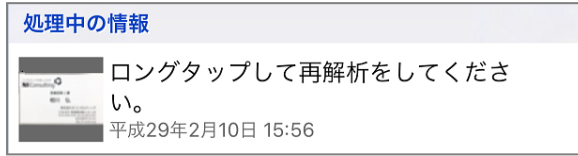


⇒端末の影が入っている





- ・ 名刺の解析後、通信エラーなどでサーバーへの接続に失敗すると、通信エラーメッセージが表示されます。画面の案内に従って、再解析してください。



- ・ プッシュ通知が来ない場合
端末の設定から「Appのバックグラウンド更新」を有効にする必要があります。
端末のホーム画面で「設定」アイコンをタップし、「一般」を選択して「Appのバックグラウンド更新」を有効にしてください。

アプリに登録した名刺を確認して編集する

解析完了した名刺を確認し、必要に応じて編集する方法を説明します。

1. 確認する名刺をタップします。

確認画面が表示されます。



2. Sales Force Assistant の類似検索設定にて条件を満たした顧客情報またはパーソン情報がある場合、類似情報が表示されます。

新規登録する場合は「新規登録する」を選択してください。

同一の顧客情報またはパーソン情報があれば対象を選択してください。

顧客情報を選択した場合、登録内容の確認・登録画面で入力した内容は Sales Force Assistant に登録されている内容へ上書き更新します。

パーソン情報を選択し、「更新する」場合は登録内容の確認・登録画面で入力した内容を Sales Force Assistant に登録されている内容へ上書き更新します。「名寄せする」場合は選択したパーソン情報に名寄せし、パーソン情報を新規登録します。



3. 内容を編集する項目をタップします。

読み取った箇所を緑枠で表示します。タップすると、項目の編集画面が表示されます。

登録する項目：

Sales Force Assistant に登録する項目です。

※黄色で表示された項目は、名刺読み取り結果と Sales Force Assistant に登録されている内容が異なる項目です。入力内容は Sales Force Assistant に登録されている内容へ上書きされます。

※青文字で表示された項目は、Web の情報で補正された項目です。

+項目を追加：

登録する項目を追加することができます。

除外された項目：

読み取り後、特定できなかった項目です。

項目を編集し、登録項目として追加できます。

登録可能な項目

顧客情報			
顧客名	顧客名かな	法人番号	TEL
FAX	郵便番号	住所	ビル名等
URL	資本金	年商	決算月
創立日（※指定入力はできません）	創立日備考	従業員数	備考
パーソン情報			
氏名（姓）	氏名（名）	氏名かな	役職
TEL	FAX	携帯番号	E-Mail
その他	所属名	郵便番号	住所
ビル名等			

4. 項目の編集画面が表示されます。

認識エリア：

読み取ったエリアの画像が表示されます。

項目をタップすると、項目一覧が表示されます。
項目の種類を変更できます。

ほかの候補：

読み取り内容から認識された値が表示されます。
候補にあがった値を選択することができます。

セットする：編集内容を保存します。

キャンセル：編集をキャンセルできます。

この項目を除外する：登録対象項目から除外できま
す。

5. 次に Sales Force Assistant へ登録する場合は、次項「[名刺を Sales Force Assistant に登録する](#)」を参照してください。

名刺を Sales Force Assistant に登録する

アプリに登録した名刺を Sales Force Assistant に登録する方法を説明します。

1. Sales Force Assistant に登録する名刺の確認画面を表示します。
2. 「登録」をタップします。



3. 登録が完了すると、アシスタントの吹き出しに登録完了メッセージが表示されます。



読み取りした名刺を削除する

アプリに登録した名刺をアプリから削除する方法を説明します。削除する方法は2つあります。メニュー画面または確認画面から削除することができます。

メニュー画面から削除する

1. 削除する名刺を右から左へスワイプします。



2. 「削除」をタップします。

名刺確認画面から削除する

1. 削除する名刺の確認画面を表示します。

2. 画面下部へスクロールし、「削除」をタップします。



3. データ削除確認が表示されますので、「削除」をタップします。

4. 削除が完了すると、メニュー画面が表示されます。

巻末付録

クライアント証明書を利用する



- 本機能は通常はシステム管理者からの連絡・案内があってから利用する機能となりますので特に案内がなければ、あるいは、ご利用の予定がなければ本節は読み飛ばしていただいても結構です。

NI コンサルティングが提供している iOS アプリではクライアント証明書を端末の識別・ユーザー認証する暗号化通信の方式をサポートします。クライアント証明書を使うためには 対象アプリ内に使用する証明書を最初に一度だけ取り込む必要があります。ただし、取り込んだ証明書の有効期限が切れたなどの理由で証明書を更新する場合は再度取り込みが必要になります。

アプリ内の専用 UI で取り込み

証明書をアプリ内に転送するため、まず iTunes がインストールされた PC または Mac に 対象アプリがインストールされている iOS デバイス (iPhone, iPad) を有線ケーブルで接続する必要があります。



証明書は iOS 標準のキーチェーンサービスによって安全に管理され対象アプリ間で共有されるので、NI Consulting が提供している他のアプリで証明書を取り込んであれば改めて取り込む必要はありません。

※他社製アプリはこの共有された証明書は利用できません。

事前にご用意いただくもの

クライアント証明書ファイル

秘密鍵を含む（PKCS#12 形式のファイル 拡張子.p12 ※.pfx という拡張子で配布される場合もあります）
および秘密鍵を保護しているパスワード（取り込み時に入力します）

※証明書ファイル名は固定とする必要があり「niconsul.p12」に変更してください。

※パスワードが空のものは対応していません。

iTunes がインストールされた Mac または Windows PC

証明書をアプリ内に転送するため、まず iTunes がインストールされた PC または Mac に対象アプリがインストールされている iOS デバイス（iPhone、iPad）を有線ケーブルで接続する必要があります。

クライアント証明書をアプリに取り込む

1. 入手したクライアント証明書ファイルのファイル名を“**niconsul.p12**”に変更します。
2. Mac または Windows PC に対象となる iOS デバイスをケーブルで接続し、iTunes を起動します。
3. iTunes 上で「App」のメニューを開き「**ファイル共有**」のセクションを表示します。
4. ファイル共有の App 上から対象アプリを選択し、右側の「（選択したアプリ名）の書類」ビューにファイル名を“niconsul.p12”としたクライアント証明書ファイルをドラッグ&ドロップするか、または、下部の「追加」ボタンからクライアント証明書ファイルを選択しアプリ内に証明書を配置します。



5. iOS デバイス上で証明書を配置したアプリを起動します。上記操作をする前にアプリを起動していたらアプリの再起動が必要です。
6. アプリを起動すると、アプリの QR コードを読み込む設定画面の下部にクライアント証明書を取り込むためのボタンが現れます。これをタップすると証明書のパスワードが要求され、ここで**秘密鍵を保護しているパスワード**を入力してください。
7. 取り込みが成功すると証明書の識別名（エイリアス名）が設定画面に表示されます。この状態のとき通信時にクライアント証明書を要求される場合に自動的にこの証明書を提示して通信するようになります。



補足

- ・ クライアント証明書を使う環境で QR コード認証を行う際、QR コード画面を HTTPS で開く必要があります。（これは QR コードに含まれている接続用の URL はその画面を開いたときの URL に応じて作成されるためです）
- ・ iTunes 経由でアプリ内に配置した証明書ファイル（niconsul.p12）は自動では削除されません。削除が必要な場合は iTunes のファイル共有上からの操作で削除してください。

クライアント証明書をアプリから破棄する

クライアント証明書が不要になった場合は、以下手順でアプリ内から取り込まれている証明書を破棄します。

1. アプリ内から証明書を破棄するにはアプリの設定画面内の「証明書の破棄」をタップします。
2. 確認ダイアログが表示され OK でアプリ内に取り込まれている証明書データが破棄されます。

以上

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了解ください。

○ 発行

2017年10月25日 第2版

株式会社 NI コンサルティング内 サポートデスク

E-MAIL : support@ni-consul.co.jp

URL : <http://www.ni-consul.co.jp>

FAX : 082-511-2226

営業時間：弊社休業日、土・日・祝日を除く月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00